

開催要項

日 時

2023年10月19日(木) 13:00-20:00
20日(金) 9:00-12:00

会 場

名古屋マリオットアソシアホテル・
ゲートタワービルカンファレンス
〒450-6002 愛知県名古屋市中村区名駅1-1-4

会 費

全体会・分科会・懇親会
26,000円

※10月5日(木)以降のキャンセルは、会費の全額をご負担いただきますので、ご注意ください。

※消費税法基本通達5-5-7に該当する共同行事のため、課税仕入れにはしないようお願いします。

参 加 申 込

ご所属の同友会事務局へお申し込み下さい。

申込締切 2023年10月4日(水)

※第6分科会(見学)の申込締切日は8月31日(木)となります。
※お申込多数の場合は人数調整をさせていただきます。

スケジュール

19日	12:30-13:00	受付
	13:00-13:40	全体会
	13:40-14:20	課題提起
	14:40-18:00	分科会
	18:30-20:00	懇親会
20日	9:00- 9:30	分科会報告
	9:40-11:30	パネルディスカッション
	11:30-12:00	まとめ・閉会

（表紙絵）ゆうゆうと互いを尊重し泳ぐ鯉たち——清流、渦流、激流をかいくぐり、いかなる環境下でも生き抜くたくましさと生命力を持つ鯉。皆さんは、この絵から何を感じられますか？ 作：杉浦昭男

第22回 障害者問題全国交流会 in 愛知 参加申込書

申込締切: 2023年10月4日(水)

参加にあたり、情報支援、移動支援等サポートを希望される方は、事前にご所属の同友会事務局までご相談ください。お申し込みは ご所属の同友会事務局 までお願いします。

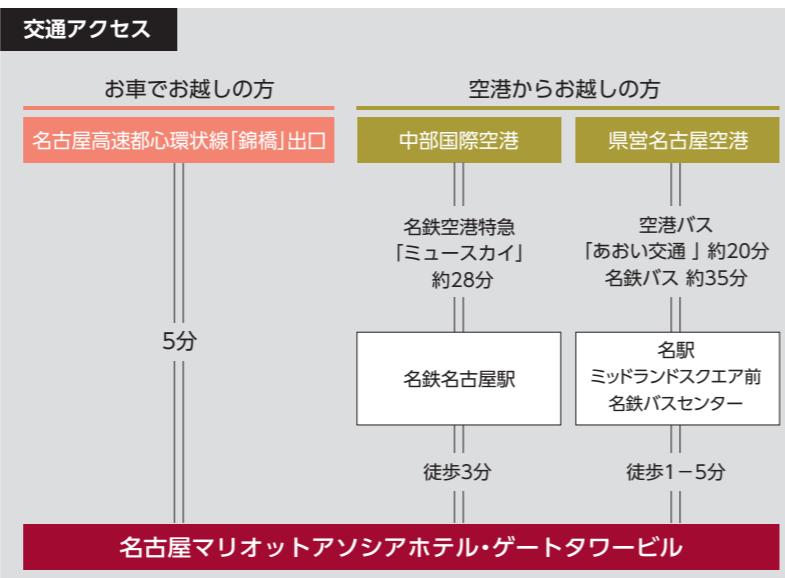
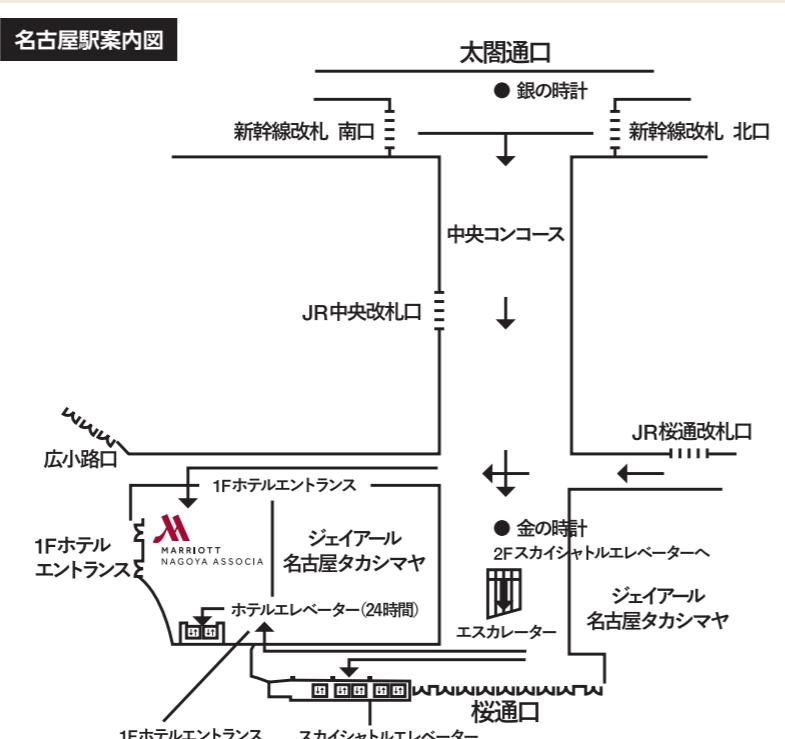
参加者名	ふりがな お名前		
会社名	役職		
分科会	第1希望 (分科会)	第2希望 (分科会)	障害者雇用の経験は <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない ※分科会のグループ討論の参考にさせていただきます。

※お申し込みは所属同友会事務局までお願い致します。会場の関係などで、第2希望の分科会になる場合もあります。ご承知おきください。

※本登録内容は行事設営のために中同協の管理のもとに参加者名簿に活用し、それ以外に使用することはありません。

※本行事の模様を撮影・録音し、記録されたものを印刷物やインターネット上で公開させていただくことがあります。参加者の皆さんのお写真が掲載されることがありますので、不都合がございましたら所属同友会事務局までご連絡ください。

※10月5日(木)以降のキャンセルは、会費の全額をご負担いただきます。



第22回 障害者問題 全国交流会 in 愛知

対等な関わりから信頼が生まれる
——語り合い、信頼し合い、明日を拓こう！

2023年
10月19日木 開会 13:00 閉会 20:00 **20日金** 開会 9:00 閉会 12:00

会 場 名古屋マリオットアソシアホテル・
ゲートタワービルカンファレンス(名古屋駅前)

会 費 **26,000円**(全体会、分科会、懇親会)

※消費税法基本通達5-5-7に該当する共同行事のため、
課税仕入れにはしないようお願いします。



主催 中小企業家同友会全国協議会

〒102-0032 東京都千代田区岩本町3-9-13 岩本町寿共同ビル3F
TEL: 03-5829-9335 FAX: 03-5829-9336
[https://www.doyu.jp](http://www.doyu.jp)

設営 愛知中小企業家同友会

〒460-0003 名古屋市中区錦3-6-29 サウスハウス2F
TEL: 052-971-2671 FAX: 052-971-5406
[https://www.douyukai.or.jp](http://www.douyukai.or.jp)

後援 愛知労働局・愛知県

第22回 障害者問題全国交流会in愛知の開催目的

中同協としての開催意義

- ①人を生かす経営の実践で「幸せの見える共生社会の実現」を目指す取り組みについて学び合う。
- ②障害者問題および障害者雇用について関心を深める。
- ③全国各地の同友会に障害者問題の取り組みの輪を広げる。

愛知同友会における開催意義

- ①障害者雇用運動発祥の地・愛知として 先輩経営者の志を繋ぎ未来に向かう。
- ②「一社一人関わる運動」を通じて、これからの時代に求められる経営姿勢を学び合う。

実行委員長ごあいさつ



1962年愛知同友会創立後、先輩経営者たちは雇用問題で知的障害の生徒たちと出逢いました。当時の会報紙では、生徒たちの就労について「人づくりの本当の意味はここにある。この子たちが人間として生きることを保障しよう」と全会員に呼びかけています。その後、会を挙げて障害者の労働と生きる権利を保障する作業所建設運動に深く関わり、障害者問題委員会が発足します。

「働きたい！」その願いが障害ゆえに叶えられない——。この人間軽視の現実に、対峙し続けてきたのが同友会です。その関わりの中で経営者自身の人間性や社会性が豊かにかたちづくられることを運動の中で明らかにしてきました。

今、直面している「持続可能性の危機」も、人間軽視の社会が生み出してきた産物です。私たち自身が同友会運動の基盤となる人間尊重経営を捉え直すことが求められていると言えます。本交流会で、これから時代に求められる経営姿勢と一緒に学んでいきましょう。

全国のみなさまのご参加を心からお待ちしています。

障害者雇用運動発祥の地・愛知から

第22回 障害者問題全国交流会in愛知 実行委員長 小出 晶子

T I Y株式会社 代表取締役

10月19日(1日目)

課題提起

同友会運動における障害者雇用を考える

障害者問題全国交流会で何を学び、実践しますか？

分科会

1 埼玉 経営姿勢の確立・経営者の責任

私の使命は共生社会の実現

新しい就労移行支援事業の創出と未来

分科会

5 愛知 運動課題

分科会

2 神奈川 共に育つ・採用・教育

ダイバーシティの力で 笑顔あふれる未来を創りだす

誰であっても活躍できる社会とは

伊藤氏は現在代表に就任してから9期目を迎えます。先代から受け継いだ際、とあるきっかけからダイバーシティ経営を始めました。当時から、社員を尊び、対等な関係として切磋琢磨している伊藤氏の経営はまさに「人を生かす経営」。社員と共に育つとはどういうことなのか。社内での取り組みや、実践事例をご紹介するとともに、ダイバーシティ経営のこれからをご報告いただきます。

報告者 浅井 順一氏

株式会社 浅井製作所

代表取締役(愛知同友会)



分科会

3 青森 共生社会、多様な働き方

分科会

4 大阪 働きがい、やりがいの創造

全社員を巻き込んで進める、「障害者雇用と社員教育」

『労使見解』実践20年の積み重ね

分科会

6 愛知 〈見学〉知らないから一步踏み出す(定員50名)

分科会

10月20日(2日目)

パネルディスカッション

企業経営における 見えない生産性とは

人間が人間らしく生きられる共生社会へ

今、日本の障害者数は国民の8%(約936万人)と、とても

身近な存在となっています。

誰もが安心して生き、働く場を増やすために、障害者

雇用の実践から「自分にできること」を考えてみませんか。

「他人ごと」から「自分ごと」へ、シフトチェンジのきっかけを掴んでください。

誰であっても活躍できる社会とは

伊藤氏は現在代表に就任してから9期目を迎えます。先代から受け継いだ際、とあるきっかけからダイバーシティ経営を始めました。当時から、社員を尊び、対等な関係として切磋琢磨している伊藤氏の経営はまさに「人を生かす経営」。社員と共に育つとはどういうことなのか。社内での取り組みや、実践事例をご紹介するとともに、ダイバーシティ経営のこれからをご報告いただきます。

伊藤正貴氏

株式会社 栄和産業 代表取締役(神奈川同友会)



■設立:1974年 ■資本金:2,300万円 ■年商:12億円 ■社員数:180名(内パート・アルバイト20名) ■事業内容:建設機械部品製造、自動車部品製造 ■https://eiwa-sangyou.co.jp/

伊藤正貴氏

株式会社 栄和産業 代表取締役(神奈川同友会)

伊藤正貴氏